



## 共同利用による研究機器の効率的な活用と 教育・研究の活性化

総合科学研究支援センター（設備利用推進室、生体情報・RI部門、遺伝子機能解析部門、  
実験動物部門、物質機能分析部門）  
研究・地方創生部 研究推進課

大学における理工学系・医学系・生命科学系の教育・研究には研究目的に合った高度な測定機器の存在が欠かせません。共同利用施設である総合科学研究支援センターの4部門では、それぞれの研究分野に特化した機器を取り揃え、研究者・学生に共同利用してもらうことで本学の教育・研究の発展に寄与しています。

しかし大学が保有する研究機器は共同利用施設に限らず、学部などにも多く設置されています。大学運営の厳しさが増す中、こうした機器の効率的な活用が教育・研究の持続的な発展に欠かせない状況と成りました。総合科学研究支援センターでは学部の機器に対しても共同利用体制の輪を広げるために、その推進役を担う“設備利用推進室”を立ち上げ、様々な課題に取り組んでいます。今後はより多くの機器を有効活用し、さらには他大学との相互利用や近隣の研究所、企業などにも開放することで本学のみならず地域社会における教育・研究の活性化のためにセンターを挙げて貢献して行きます。ホームページもご覧ください。（<https://open-facility.shimane-u.ac.jp/>）

島根大学 総合科学研究支援センター  
設備利用推進室  
Open Facility Promotion Office

TOP 総合科学研究支援センター 島根大学ホームページ

サイトの検索

HOME 共同利用機器について 共同利用機器一覧（松江地区） 設備利用推進室について お問い合わせ

共同利用機器について

このページでは、  
大学が保有する実験設備を有効活用し研究の活性化および地域への貢献に資するべく、学内の教職員、学生、研究員はもちろんのこと、学外の研究者や企業の研究・開発者の方々にもご利用いただけるサービスを提供いたします。